

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	基礎自動車工学(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験 取組加減
〔授業概要・目的〕							
自動車の概要や構造を理解し、三級自動車ガソリン・エンジン整備士の知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
基礎自動車工学、練習問題プリント、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	導入と自動車の概要1					
		(1) ・自動車の定義や道路運送車両法、道路交通法を学ぶ。					
		・駆動輪の位置による分類、原動機による分類、エンジン位置による分類を理解する。					
	1	自動車の概要2					
		(2) ・実習車による駆動輪の位置による分類、エンジン位置による分類の確認。					
		・教科書での内容を実習車で観察することにより理解を深める。					
	2	自動車の構造1					
		(4) ・自動車の主要部の構造を知り、部品名称と役割を覚え、ガソリンエンジンの原理を理解する。					
		・練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	2	自動車の構造2					
		(6) ・ガソリン・エンジン本体の構造を学び、各部の部品名称を覚える。					
		・潤滑装置、冷却装置の構造を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	2	自動車の構造3					
		(8) ・燃料装置、電子制御装置、吸排気装置の構造を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
1	2	自動車の構造4					
		(10) ・バッテリーの構造を理解する。					
		・始動装置、充電装置、点火装置の構造を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	3	総合復習					
		(13) ・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	エンジン系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	35時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験 取組加減
[授業概要・目的]							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジンの構造に関する知識を習得する。							
[授業の到達目標]							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
各章のエンジン構造、機能、整備の知識を習得及び、練習問題等により理解度の向上を図る							
[学習評価の基準]							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
[使用教科書・教材等]							
三級自動車ガソリン・エンジン、基礎自動車整備作業、練習問題プリント、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	2	導入					
	(2)	・エンジン系構造の概要、安全作業に対する心得を理解する。					
	4	工具の基本作業					
	(6)	・基本作業に用いられる工具の名称や用途、種類と構造及び使用法について理解する。					
	5	エンジン総論					
	(11)	・内燃機関の分類、4サイクル・エンジンの構造と作動、ダイヤグラム、燃焼、排気ガス、排気ガス浄化装置を理解する。					
	7	エンジン本体					
	(18)	・エンジン本体、シリンダ・ヘッド、シリンダ・ヘッド・ガスケット、シリンダ・ブロック、ピストン、コンロッド、クランクシャフト、フライホイール及びリング・ギヤ、バルブ機構を理解する。					
	4	潤滑装置					
	(22)	・潤滑装置の構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	4	冷却装置					
	(26)	・冷却装置の構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
1	1	燃料装置					
	(27)	・燃料装置の構造・機能を理解する。					
	4	吸排気装置					
	(31)	・吸排気装置の構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					

	4	総合復習
(35)		・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	シャシ系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	35時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
〔授業概要・目的〕							
整備士として必要なシャシの構造に関する知識の習得する。							
〔授業の到達目標〕							
自動車整備士として必要なシャシの構造に関する知識の習得し、学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車シャシ、練習問題プリント、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	導入					
	(1)	・走る・止まる・曲がるの原理と性能を理解する。					
	2	ブレーキ装置1					
	(3)	・マスタシリンダの構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	2	ブレーキ装置2					
	(5)	・ドラム・ブレーキの構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	2	ブレーキ装置3					
	(7)	・ディスク・ブレーキの構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	4	ステアリング装置					
	(11)	・ステアリング装置の構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					
	2	動力伝達装置1					
	(13)	・クラッチの構造・機能を覚える。					
	4	動力伝達装置1					
	(17)	・マニュアル・トランスミッションの構造・機能を覚える。					
	4	サスペンション					
	(21)	・サスペンションの構造・機能を覚える。					
	2	ホイール及びタイヤ1					
	(23)	・ホイールの構造・機能を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。					

	2	ホイール及びタイヤ2
(25)		・タイヤの呼び・扁平率・スリップサイン・異常現象を学び、練習問題プリントを実施し理解度を確認する。
	4	ホイール・アライメント
(29)		・ホイール・アライメントの構造・機能を覚える。
	4	フレーム及びボデー
(33)		・フレーム及びボデーの概要及び、乗用車の種類を覚える。
	2	総合復習
(35)		・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	自動車総論(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
[授業概要・目的]							
基礎的な計算方法を学習することで、自動車整備士資格に合格できるレベルの計算力を習得する。							
[授業の到達目標]							
自動車整備士として必要な計算の知識を習得し、							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
[学習評価の基準]							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
[使用教科書・教材等]							
計算問題を解くノウハウ、基礎自動車工学、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	単位と用語、および荷重について					
	(1)	・計算問題を解くのに必要な公式、単位、用語について理解する。					
	2	荷重の問題					
	(3)	・てこの原理・釣り合い及び、軸重の計算について理解する。					
	1	圧力の問題					
	(4)	・圧力の計算、パスカルの原理の計算について理解する。					
	2	電気の問題					
	(6)	・オームの法則、合成抵抗の計算について理解する。					
	2	トルク関係の問題					
	(8)	・トルクの計算について理解する。					
	2	総合復習					
	(10)	・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	自動車総論(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
[授業概要・目的]							
基礎的な計算方法を学習することで、自動車整備士資格に合格できるレベルの計算力を習得する。							
[授業の到達目標]							
自動車整備士として必要な計算の知識を習得し、学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
[学習評価の基準]							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
[使用教科書・教材等]							
計算問題を解くノウハウ、基礎自動車工学、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	2	変速比の問題					
	(2)	・駆動と受動の関係を理解し、増速・減速の計算について理解する。					
	2	排気量、総排気量の問題					
	(4)	・内径、ストローク等から排気量の計算について理解する。					
	2	駆動トルクの問題					
	(6)	・駆動力と駆動トルクの計算について理解する。					
	1	電力の問題					
	(7)	・電力＝電流×電圧の公式を理解し、電力の計算について理解する。					
	3	総合復習					
	(10)	・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	材 料	対 象 級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	5時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験 取組加減
〔授業概要・目的〕							
整備士として自動車に使われる部品材料の知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
自動車整備士として必要な自動車に使われている各種材料の知識を習得し、							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
自動車材料、三級自動車ガソリン・エンジン、三級自動車シャシ、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授 業 内 容 (項 目)					
1	1	総論					
		(1) ・自動車材料の全体的な構成について学び、金属材料の性質を理解する。					
	1	エンジン材料					
		(2) ・エンジン各部に使用されている材料を覚える。					
		シリンダ・ヘッド/ガスケット/シリンダ・ブロック/ピストン/コンロッド/クランクシャフト					
	1	シャシ材料					
		(3) ・シャシ各部に使用されている材料を覚える。					
		プロペラ・シャフト/ドライブ・シャフト/ホイール/ブレーキ					
	1	熱処理/表面硬化					
		(4) ・金属の各種処理方法を理解する。					
		熱処理:なまし/焼ならし/焼入れ/焼戻し、 表面硬化:高周波焼入れ/浸炭法/窒化法					
		プロペラ・シャフト/ドライブ・シャフト/ホイール/ブレーキ					
	1	総合復習					
		(5) ・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	79時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジンの構造に関する知識と技術を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車ガソリン・エンジン、車両チェックシート、エンジン単品(L15A)、各種単品部品、実習車両							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	3	工具の種類					
	(3)	・工具の名称を覚える。					
	3	車両チェックシート					
	(6)	・車両の各部名称を覚える。					
	8	G100エンジン					
	(14)	・分解、組付けを実施する中で、部品の名称を覚えバルブの開閉のタイミングを理解する。					
		・バルブの最大リフト量の測定を実施する。					
	8	エンジン本体単品					
	(22)	・エンジン本体の単品部品の名称を覚え、役割を理解する。					
	10	L15エンジン					
	(32)	・エンジンの分解、組付けを通じて各部品の名称を覚え、役割を理解する。					
	3	潤滑装置単品					
	(35)	・単品部品で部品名称を覚え、役割を理解する。					
	3	冷却装置単品					
	(38)	・単品部品で部品名称を覚え、役割を理解する。					

1	2	燃料装置単品
	(40)	・単品部品で部品名称を覚え、役割を理解する。
	2	吸排気装置単品
	(42)	・単品部品で部品名称を覚え、役割を理解する。
	6	始動装置単品
	(48)	・スタータの分解・組付けを通じて部品名称を覚え、役割を理解する。
	6	充電装置単品
	(54)	・オルタネータの分解・組付けを通じて部品名称を覚え、役割を理解する。
	2	実車授業 導入
	(56)	・CSセットの重要性やお客様の車両の取り扱い方を学ぶ。
	3	GP200
	(59)	・分解・組付けを通じて部品名称を覚え、役割を理解する。
	4	始動装置実車
	(63)	・実車から始動装置を脱着する要領を得る。
	4	充電装置実車
	(67)	実車から充電装置を脱着する要領を得る。
	3	点火装置単品
	(70)	・点火装置単品にて部品名称を覚え、役割を理解する。
	3	バッテリー
	(73)	・バッテリー単品部品、カットモデルにて部品名称を覚え、役割を理解する。
	2	電子制御装置単品
	(75)	・電子制御装置単品にて部品名称を覚え、役割を理解する。
	3	総合復習
	(78)	・学習した授業の総合復習の実施。
	1	実習確認試験
	(79)	・実習確認試験を実施し、理解度を確かめる。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	シャシ系構造(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	79時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
各装置の学科で得た知識を基に、基本的な装置・構造について分解組み立てを行い、理解を深める実習とする。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。							
各装置の構成、名称、作動の仕組み、原理を理解する。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
三級自動車シャシ、総合練習問題							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	2	導入					
	(2)	・リフトの使い方及び、タイヤの外し方を理解する。					
	3	マスタシリンダ単品					
	(5)	・マスタシリンダ単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					
	6	ドラム・ブレーキ単品					
	(11)	・ドラム・ブレーキ単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					
	3	ディスク・ブレーキ単品					
	(14)	・ディスク・ブレーキ単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					
	3	ラック・ピニオン型(R/P型)ステアリング単品					
	(17)	・R/P型ステアリング単体の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					
	3	ドライブシャフト単品					
	(20)	・ドライブシャフト単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					
	3	動力伝達装置単品(クラッチ単品)					
	(23)	・クラッチ単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。					

1	9	ドラム・ブレーキ実車
	(32)	・実車に取り付いているドラム・ブレーキの脱着手順を理解する。
	6	ディスク・ブレーキ実車
	(38)	・実車に取り付いているディスク・ブレーキ(浮動型・固定型キャリパ)の脱着手順を理解する。
		・ディスク・ブレーキ(浮動型・固定型キャリパ)の各部の構造、構成部品の名称を再度覚える。
	6	ドライブシャフト実車
	(44)	・実車に取り付いているドライブシャフトの脱着手順を理解する。
		・ドライブシャフトの各部の構造、構成部品の名称を再度覚える。
	6	ホイール及びタイヤ単品
	(50)	・タイヤの交換機器(タイヤチェンジャ)の操作方法及び、交換方法を理解する。
		・ホイール及びタイヤの各部の構造、構成部品の名称を覚える。
	6	外装品脱着
	(56)	・実車に取り付いている外装品の脱着手順を理解する。
		・外装品の各部の構造、構成部品の名称を覚える。
	3	制動倍力装置単品
	(59)	・制動倍力装置単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。
	6	油圧式パワーステアリング単品
	(65)	・油圧式パワーステアリング単品の分解、組立を行い、各部の構造、構成部品の名称を覚える。
	9	サスペンション実車
	(74)	・実車に取り付いているサスペンションの脱着手順を理解する。
		・サスペンションの各部の構造、構成部品の名称を再度覚える。
	4	総合復習
	(78)	・学習した授業の総合復習として、実習教材の見直し確認を実施し理解度の向上を図る。
	1	実習確認試験
	(79)	・実習確認試験を実施し、理解度を確かめる。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	エンジン系整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	27時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
[授業概要・目的]							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジン系の点検整備に関する知識を習得する。							
[授業の到達目標]							
教科書を中心に各章の機能、整備の知識を習得し、学科期末試験において、90点以上を目指す。							
[学習評価の基準]							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
[使用教科書・教材等]							
三級自動車ガソリン・エンジン、練習問題プリント、実力判定問題集、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	2	エンジン系構造の復習					
		(2) ・前期の復習を実施して後期の整備学習に備える。					
	2	半導体					
		(4) ・半導体の基礎知識について理解する。					
	2	バッテリー					
		(6) ・バッテリーの構造・機能、整備を理解する。					
	3	始動装置					
		(9) ・始動装置の構造・機能、整備を理解する。					
	3	充電装置					
		(12) 充電装置の構造・機能、整備を理解する。					
	3	点火装置					
		(15) ・点火装置の構造・機能、整備を理解する。					
	11	練習問題					
		(26) ・練習問題プリント、実力判定問題集を実施し理解度の向上を図る。					
	1	総合復習					
		(27) ・学習した授業の総合復習として総合復習問題プリントを実施し理解度向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	シャシ系整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	27時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
[授業概要・目的]							
整備士として必要なシャシ系の点検整備に関する知識を習得する。							
[授業の到達目標]							
シャシ系の点検方法・調整方法等の整備方法を理解・習得し、							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
[学習評価の基準]							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
[使用教科書・教材等]							
三級自動車シャシ、実力判定問題集、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	4	ブレーキ装置					
	(4)	・ブレーキ装置の復習として、部品名称及び、分解、組み立て手順を再度理解する。					
		・ブレーキ装置の整備方法を理解する。					
	4	制動倍力装置					
	(8)	・制動倍力装置の部品名称及び、分解、組み立て手順を理解する。					
	4	ホイール及び、タイヤ					
	(12)	・ホイール及び、タイヤの復習として、各部名称及び、構造と役割を再度理解する。					
		・タイヤの交換機器(タイヤチェンジャ)の操作方法及び、交換方法を理解する。					
	2	ステアリング装置					
	(14)	・ステアリング装置の復習として、部品名称及び、分解、組み立て手順を再度理解する。					
	10	練習問題					
	(24)	・実力判定問題集を解き、苦手分野の問題を見直し理解する。					
	3	総合復習					
	(27)	・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	エンジン系整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期

教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
------	------------------	--	--	--	--	--	--

実務経験教員授業	非該当	総時限	66時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評価	取組加減
----------	-----	-----	------	------	-------	------	-----------	--------	------

[授業概要・目的]

三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要なエンジン系の点検整備に関する知識と技術を習得する。

[授業の到達目標]

学科 期末試験において、90点以上を目指す。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。
 5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの
 各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点
 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。
 レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車ガソリン・エンジン、各種単品部品、実習車両

授 業 計 画 表 No. 1

STEP	標準時限	授業内容(項目)
1	12	L15Aエンジン
	(12)	・エンジンの分解・組付けを実施する中で部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	3	エンジンオイル交換
	(15)	・エンジンオイル交換の技術を習得し、オイルの種類や粘度について理解する。
	2	潤滑装置単品
	(17)	・潤滑装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	2	冷却装置単品
	(19)	・冷却装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	4	エンジン本体単品
	(23)	・エンジン本体の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	4	充電装置単品
	(27)	・充電装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	2	点火装置単品
	(31)	・点火装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。

	5	始動装置単品
(36)		・始動装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	2	L15Aバルブクリアランス
(38)		バルブクリアランスの測定と調整方法を理解する。
	4	L15Aシリンダヘッド分解
(42)		バルブの取り外し、取り付け方法を理解する。
	4	電子制御装置単品
(46)		・電子制御装置の部品の名称と役割の復習を実施し、整備方法を理解する。
	4	吸排気装置実車
(50)		実車にてインテーク・マニホールドの取り外し、組付け方法を理解する。
	2	電位測定実車
(52)		実車にて電位の測定方法を理解する。
	2	補機ベルト脱着実車
(56)		実車にてベルトの取り外し、取り付け方法と張りの調整方法を理解する。
	2	始動・充電装置実車
(56)		実車にて補機ベルトの作業復習を実施し始動装置、充電装置の取り外し、取り付け方法を理解する。
	9	総合復習
(65)		・学習した授業の総合復習として、実習教材の見直し確認を実施し理解度の向上を図る。
	1	実習確認試験
(66)		実習確認試験を実施し、理解度を確かめる。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	シャシ系整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期

教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
------	------------------	--	--	--	--	--	--

実務経験教員授業	非該当	総時限	66時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評価	取組加減
----------	-----	-----	------	------	-------	------	-----------	--------	------

[授業概要・目的]

整備士として必要なシャシ系の点検・整備を行い、理解を深める実習とする。

[授業の到達目標]

安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。
各装置の構成、名称、作動を理解したうえで、点検・整備方法を理解する。

[学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

[使用教科書・教材等]

三級自動車シャシ、総合練習問題

授 業 計 画 表 No. 1

STEP	標準時限	授業内容(項目)
1	2	ブレーキ・フルード エア抜き作業
	(2)	・ブレーキオイル交換及び、エア抜きの方法を理解する。
	4	ディスク・ブレーキ単品 分解整備
	(6)	・ディスク・ブレーキの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	2	ドラム・ブレーキ単品 分解整備
	(8)	・ドラム・ブレーキの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	2	フロント・ブレーキ・キャリパ単品 分解整備
	(10)	・ブレーキ・キャリパの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	2	バッテリー 実車
	(12)	・実車からバッテリーを脱着して、バッテリーの交換手順・方法を理解する。
	2	リア・ブレーキ・キャリパ単品 分解整備
	(14)	・ブレーキ・キャリパの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	4	灯火装置 実車
	(18)	ヘッドライト及び、テールライトを脱着して、分解・組み立て方法を理解する。

1	2	マスタ・シリンダ単品 分解整備
	(20)	・マスタ・シリンダの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	2	ステアリング装置単品 分解整備1
	(22)	・ステアリング装置の分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	2	ドライブ・シャフト単品 分解整備
	(24)	・ドライブ・シャフトの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	5	艀装 分解整備
	(29)	・ウィンド・レギュレータのグリース塗布場所及び、グリースの名称を覚え、整備方法の理解を深める。
	5	ディファレンシャル単品 分解整備
	(34)	・ディファレンシャルの分解・組み立て方法を前期の復習として再度学び、整備方法の理解を深める。
	1	総合復習1
	(35)	・前半パートの授業内容の復習として、実習教材の見直し確認を実施し理解度の向上を図る。
	4	バッテリー単品 整備
	(39)	・比重計の目盛りの読み方を学び、バッテリー電解液の比重測定方法を理解する。 ・ブースタ・ケーブルの取り扱い方を学び、バッテリー上がり車の救援方法を理解する。 ・先行実習確認試験として、実車からのバッテリー脱着を実施し、脱着方法の理解度を確認する。
	4	ドラム・ブレーキ実車 分解整備
	(43)	・ハブが付いた状態の実車で、ドラム・ブレーキの整備方法の理解を深める。
	4	ブレーキ 実車
	(47)	・ブレーキオイル交換及び、エア抜きの方法を理解する。 ・ブレーキペダルの遊び、高さの測定方法を理解する。
	6	サスペンション 実車
	(53)	・フロント及びリア・サスペンションを実車からの脱着方法を理解する。
	2	ホイール及びタイヤ 分解整備
	(55)	・タイヤ・チェンジャの使用方法を復習して、ホイールバルンサの取り扱い方法を理解する。
	2	ウィンド・シールド・ワイパ 実車
	(57)	・ワイパ・ラバーの交換方法を理解する。 ・ワイパ・アームの脱着方法を理解する。
	2	ブレーキ単品 分解整備
	(59)	・マスタ・シリンダ、ブレーキ・キャリパ、ドラム・ブレーキの整備方法の理解を深める。
	2	ステアリング装置単品 分解整備2
	(61)	・ステアリング装置の構造を復習して、調整方法(プレロード調整)を理解する。
1	2	制動倍職装置単品 分解整備
	(63)	・制動倍職装置の構造を復習して、気密・負荷・作動の点検方法を理解する。
	2	総合復習2
	(65)	・学習した授業の総合復習として、実習教材の見直し確認を実施し理解度の向上を図る。
	1	実習確認試験
	(66)	・実習確認試験を実施し、理解度確かめる。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 自動車整備作業	小教科目	総合自動車整備(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	36時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
整備士として必要な車両に関する総合的な知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。							
修理箇所を想定した車両情報の確認及び、部品番号検索方法を理解する。							
日常/定期点検の必要性の理解と、点検方法を理解する。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
定期点検整備記録簿、パーツカタログ、SEソフト編、自動車検査証							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	6	カーフィルム貼り					
	(6)	・カーフィルムの貼り付け工具の使い方を覚え、貼り付け手順を理解する。					
	8	パーツカタログ 部品番号検索					
	(14)	・車両情報の確認方法を学び、パーツカタログで部品番号を検索する方法を理解する。					
	8	定期点検					
	(22)	・日常点検の必要性及び、点検項目毎の点検方法を理解する。					
		・定期点検の必要性及び、点検項目毎の点検方法、記号/区分毎の使用方法を理解する。					
	4	サービススタッフに必要な接客基礎					
	(26)	・接遇の基本として、あいさつ・言葉遣いと話し方・立ち居振る舞い方を理解する。					
	4	サービススタッフに必要な接客応用					
	(30)	・接遇の応用として、電話応対・名刺交換の方法を理解する。					
	1	洗車					
	(31)	・高圧洗浄機の使用方法を覚え、洗車の手順を理解する。					
	1	自動車検査証					
	(32)	・自動車検査証の更新の必要性及び、自動車検査証の各項目の記載内容を理解する。					

1	3	総合復習
	(35)	・学習した授業の総合復習として、実習教材の見直し確認を実施し理解度の向上を図る。
	1	実習確認試験
	(36)	・実習確認試験を実施し、理解度を確かめる。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 自動車整備に関する法規	小教科目	自動車法規(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当		山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘					
実務経験教員授業	非該当	総時限	20時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
〔授業概要・目的〕							
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要な法規についての知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
自動車整備士の図解 3級法令、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	総則1					
		(1) ・法律の目的を知り、道路運送車両法の分類を理解する。					
	1	総則2					
		(2) ・自動車の種別を理解する。					
	1	登録制度					
		(3) ・自動車の登録等に関する規定を理解する。					
	1	保安基準1					
		(4) ・自動車の構造についての保安基準を理解する。					
	1	保安基準2					
		(5) ・自動車の装置についての保安基準を理解する。					
	1	点検整備制度					
		(6) ・使用者の点検及び整備の義務について理解する。					
		・日常点検整備、定期点検整備、点検整備記録簿について理解する。					
	1	検査制度					
		(7) ・自動車の検査、検査証の有効期間、検査証の備付けについて理解する。					

1	1	整備事業
	(8)	・自動車の特定整備事業の種類について理解する。
	1	自動車の構造
	(9)	・自動車用語の定義や自動車の長さ、幅、高さ、車両総重量や軸重、輪荷重について理解する。
	1	自動車の装置1
	(10)	・原動機及びシャシ関係についての保安基準を理解する。
	1	自動車の装置2
	(11)	・車体関係の保安基準について理解する。
	1	自動車の装置3
	(12)	・公害防止関係の保安基準について理解する。
	1	自動車の装置4
	(13)	・灯火装置の保安基準について理解する。 走行用前照灯/すれ違い用前照灯/前部霧灯/車幅灯
	1	自動車の装置5
	(14)	・灯火装置の保安基準について理解する。 側方灯/番号灯/尾灯/後部反射器/制動灯
	1	自動車の装置6
	(15)	・灯火装置に保安基準について理解する。 補助制動灯/後退灯/方向指示器
	1	自動車の装置7
	(16)	・運転操作に関する保安基準について理解する。 警音器/後写鏡/非常用信号用具
	4	総合復習
	(20)	・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 工作作業	小教科目	工作作業	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 期末試験 レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕							
工具を用いた工作作業の基礎知識を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
安全作業と整理整頓の重要性とその実践を繰り返し行い、習慣化する。							
工作機器の使用方法及び、加工を通じて、ものづくりの基礎知識を習得する。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)							
〔使用教科書・教材等〕							
TAMIYA製ミニ四駆、デザイン画、ドリル、やすり、カラスプレー、塗料、ブラシ、紙やすり、ニッパ、ドライバ							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	導入、作成の流れ説明、デザイン画作成					
	(1)	・ものづくりの流れを理解する。					
	4	加工作業(ボデー編)〈使用工具:ドリル、やすり、ニッパ〉					
	(5)	・使用する工具の使い方を理解し、ボデーの穴あけ作業を習得する。					
	3	加工作業(シャシ編)〈使用工具:ドリル、やすり、ニッパ〉					
	(8)	・使用する工具の使い方を理解し、シャシの穴あけ作業を習得する。					
	3	塗装〈使用工具:カラスプレー、塗料、ブラシ、紙やすり〉					
	(11)	・カラスプレー及び、塗料の使い方を理解し、塗装作業を習得する。					
	1	組み立て作業〈使用工具:やすり、ニッパ〉					
	(12)	・使用する工具の使い方を理解し、車両の組み立て作業を習得する。					
	1	提出、片付け					
	(13)	・使用した工具の返却、整理、整頓、清掃を行う。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	実習 測定作業	小教科目	測定作業(三級)			対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
								開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘								
実務経験教員授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	実習・実技	評価方法	学科試験 期末試験	レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕									
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要な測定要領についての知識を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
測定機器の理解を深め、測定技術の基本を習得し、									
期末試験において、90点以上を目指す。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
三級自動車ガソリン・エンジン、三級自動車シャシ、サーキット・テスタ、比重計									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	6	電気回路測定							
		(6) ・サーキットテスタの使い方を学び、電圧降下と電位の測定方法を理解する。							
	3	シャシ系測定							
		(9) ・ブレーキ関係の測定方法を理解する。(ブレーキ・ディスク、パッド、シューの測定)							
		・バッテリー関係の測定方法を理解する。(バッテリーの端子電圧、電解液濃度、比重測定)							
	3	エンジン系測定							
		(12) ・エンジン単品部品の測定方法を理解する。(シリンダ、ピストン、シリンダ・ブロックのひずみ測定)							
		・ラジエータ・キャップの機能点検、ラジエータの水漏れ点検方法を理解する。							
	1	実習確認試験							
		(13) ・実習確認試験を実施し、理解度を確かめる。							

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	学科 機器の構造・取扱い	小教科目	機器の構造・取扱(三級)	対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
						開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘						
実務経験教員授業	非該当	総時限	7時限	授業方法	講 義	評価方法	学科試験 期末試験
取組加減							
〔授業概要・目的〕							
国家3級自動車整備士として必要な機器の構造の理解と取り扱い方法を習得する。							
〔授業の到達目標〕							
自動車整備士として必要な工具・機器の名称及び、取り扱い方法を習得し、							
学科 期末試験において、90点以上を目指す。							
〔学習評価の基準〕							
各試験点数の基準、授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。							
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの							
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点							
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。							
〔使用教科書・教材等〕							
基礎自動車整備作業、自動車整備 工具・機器、総合練習問題プリント							
授 業 計 画 表							No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)					
1	1	タップ/ダイス					
	(1)	・タップ/ダイスの種類と使用方法及び、取り扱い方法を理解する。					
	1	バイス・やすり・リーマ					
	(2)	・バイス・やすり・リーマの種類と使用方法及び、取り扱い方法を理解する。					
	1	プーラ・インパクトレンチ					
	(3)	・プーラ・インパクトレンチの種類と使用方法及び、取り扱い方法を理解する。					
	1	ノギス					
	(4)	・ノギスの種類と取り扱い方法及び、目盛りの読み方を理解する。					
	1	マイクロ・メータ					
	(5)	・マイクロ・メータの種類と取り扱い方法及び、目盛りの読み方を理解する。					
	1	ダイヤル/シリンダ・ゲージ					
	(6)	・ダイヤル/シリンダ・ゲージの種類と取り扱い方法及び、目盛りの読み方を理解する。					
	1	総合復習					
	(7)	・学習した授業の総合復習として、総合練習問題プリントを実施し理解度の向上を図る。					

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	一般	小教科目	安全運転学			対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
								開講期	後期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘								
実務経験教員授業	非該当	総時限	7時限	授業方法	講 義	評価方法			
〔授業概要・目的〕									
モビリティカンパニーに属する者として交通安全に対する認識を高める。									
〔授業の到達目標〕									
交通社会で安全運転が実践できる知識を習得する。									
行動時の規律の大切さと、他人との協調性を養う。									
〔学習評価の基準〕									
学習評価なし									
〔使用教科書・教材等〕									
事故啓蒙活動動画、自転車講習資料、ドライビング・シミュレータ									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	1	自転車講習 振り返り(紀北自動車学校提供資料)							
	(1)	・自転車の交通事故事例を紹介して、安全運転の必要性を理解する。							
	1	安全運転HR							
	(2)	・KYT(危険予知トレーニング)を実施し、事故を起さないための心得を理解する。							
		・クラス毎に交通安全宣言を作成し、安全運転の重要性を理解する。							
	1	安全運転HR							
	(3)	・連休中の事故・違反有無を確認する。							
		・交通事故事例を紹介して、安全運転の必要性を理解する。							
	4	ドライビング・シミュレータ(ホンダ学園内)							
	(7)	・速度とハンドル操作の関係性を体感し、安全運転の必要性を理解する。							

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

大教科目	一般	小教科目	日本語教育			対象級	専門課程 自動車整備留学生科1年	作成月日	24/04/01
								開講期	前期
教科担当	山崎 翼、海野 貴裕、高橋 政弘								
実務経験教員授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講 義	評価方法			
〔授業概要・目的〕									
三級自動車ガソリン・エンジン整備士として必要な日本語能力を習得する。									
〔授業の到達目標〕									
日本語能力試験N3もしくは、日本語能力試験N2を取得する。									
無資格者は日本語能力試験N3を取得する事とし、日本語能力試験N3保有者は日本語能力試験N2を取得する。									
〔学習評価の基準〕									
学習評価なし									
〔使用教科書・教材等〕									
日本語能力試験参考書、日本語能力確認試験問題									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	1	日本語能力確認試験問題							
	(1)	・日本語能力確認試験問題を実施し、理解度を確認する。							
	1	日本語能力確認試験問題解答・解説							
	(2)	・日本語能力確認試験問題の解答・解説を実施し、日本語能力向上を図る。							
	2	文字・語彙							
	(4)	・日本語能力試験N3及び日本語能力試験N2の文字と語彙を学び、理解する。							
	2	文法							
	(6)	・日本語能力試験N3及び日本語能力試験N2の文法を学び、理解する。							
	2	読解							
	(8)	・日本語能力試験N3及び日本語能力試験N2の読解を学び、理解する。							
	2	聴解							
	(10)	・日本語能力試験N3及び日本語能力試験N2の聴解を学び、理解する。							